

はゞかりながら
乍 憚 口上

御しやば御鬘貞御連中様方御寿命歳々年御なづくし■
為入目出度奉存候 随て我に仰
仙れに湯治

ついでながら上方表江罷越親海老蔵と面会致し江処大江戸の御恵みも深見草の御影
故殊之外取はやされ

一 狂言出勤致其候様と達て申され御行共市川家他出興行■先々より■之年故家名
のけがれにも相成と心得

不斗思ひ付極楽表江出奔致し祖父團十郎伯父菊五郎をはじめ古人相面会致し夫よりさ
いの河原座におゐて蓮の産

初対面と名付御狂言を取仕組候又殊外大當りにて古今稀なる大入大評判に御段取大江戸
鬘貞様がた

御始團々御連中様方御見物御光来之程は偏に御断申上候以上

八代目市川團十郎都々死でもう寿